

# ヒューマニティ・チーム リーダーシップ宣言同意書

ヒューマニティ・チームのリーダー活動へようこそ！

ヒューマニティ・チームのリーダーという役割に一步を踏み出して下さってありがとうございます。世界を変えたければ、まず自らの内側に入っていき、世界にこうあって欲しいという変化に、まず自分自身が変化するのだ、という重要な草の根のスピリチュアル運動に、あなたの愛、光、そしてエネルギーをもたらしてくれるのです。この、魂のための公民権運動の特徴とは：

- すべてを包括すること
- ひとつであること
- 内なる真実

神に至る真実の道は、ひとつではないということを私達は認めています。すべての道は神に至るのです。私達の方法は、より優れた方法なのではなく、ただ別の一つの方法にすぎないのです。この、すべてを包括するという精神によって、あらゆる信仰、伝統、文化的遺産や信念体系を持つ人々に対して「新たなる靈性」の具現であるヒューマニティ・チームに参加してもらえるのです。すべての人が参加することはなくても、すべての人を歓迎します。このようにして、私達は自らの生き方によって、人間は、排他的な神学論を超えて進化していけるのだということを示していきます。

私達は 皆で「ひとつ」です。私達は「ひとり」の存在なのです。物理的宇宙に生きている靈的存在として、私達は、神及びお互いからの分離という幻想を認めます。それでいて二元性と物理的存在における幻想が、今というそれぞれの瞬間ごとに自分自身を新しく創造するのに役立ってきたことを祝福します。ただし、その形態が錯覚であるということには常に気づいていることでしょう。

私達は、私達の真実の姿は、私達の中にもみあるのだと認めます。私達は、一人一人の個人の中にある、その人の真実に、すべてを委ねます。私達の内なる真実の集合意識が深く共鳴することに喜びを見出します。この共鳴が、この運動に参加する我々の基礎となるものです。

- 共鳴
- ビジョンの一致
- 組織

深い共鳴に基づいて力を合わせれば、共にこの運動を進めていきたいという望みが自然に表現された、共通のビジョンや組織ができます。

リーダーという役割は、あなたがヒューマニティ・チームにおける「責任ある」重要な地位を選んだ、ということの意味します。

本当のあなたになって下さって、それをヒューマニティ・チーム及び世界と分かち合ってくれてどうもありがとうございます。あなたの働きによって、人間の集合意識の暗闇に、私達の集合体としての灯火を照らすことができ、私達が神聖で、限らない存在であることを思い出させることができるので

す。あなたの力によって、ヒューマニティ・チームは、人間の集合意識をより高次の存在に変化させる意識的役割を果たすことができるのです。

## はじめに

ヒューマニティ・チームとは、世界規模の草の根の運動であり、人々を次のような中心的活動理念によって集結させようとするものです。それは：世界は変えることができる。世界は今のような状態である必要はない。そして、一人一人の個人が世界を変えることができる。それには、個人及び集団によるスピリチュアル行動主義という力を使う。

ヒューマニティ・チームの、世界における活動は、さまざまな分野における教師達によって今、世にもたらされつつあるスピリチュアルなメッセージに基づいて行われます。この、新しい考えと古代の智慧を合わせた変革的宇宙論を、New Spirituality (新たなる霊性)と呼びます。

ヒューマニティ・チームは、「神との対話」シリーズの著者であるニール・ドナルド・ウォルシュ氏が、インスピレーションを受けて発案されました。シリーズ6番目の著書にあたる、「新しき啓示」及び7番目の著書、「明日の神」の副産物でもあります。

目的としているのは、地球上に「新たなる霊性」を出現させる可能性の場を創ることです。新しい宗教を作ることはありません。

ヒューマニティ・チームのメンバーは、「スピリチュアル活動家」として行動します。これは、「新たなる霊性」を支持する直接的な行動をする人々のことです。最初は、それぞれの心の中で、それから家庭で、そして近所で、職場で、教会で、寺院で、モスクで、その他の色々な礼拝所で、そしてコミュニティで、国家で、そして最終的には世界中のあらゆる場所において。

「新たなる霊性」は、神及びお互いの繋がりを回復し、再活性化します。神と生命/人生の本質についての知識や意識を発達、成長させるような考えをもたらします。すでに固定化している霊性や哲学や宗教のシステムを指し示すものではありません。ですから、多くの霊的真理への道や、その定義を受け入れます。身体、マインド、ハート、そして魂は、すべて神聖なるものとみなします。自己から追放され、愛されていない部分でさえも、元の霊的故郷に呼び戻されます。

「新たなる霊性」は、一人一人の個人の道を見つけることを可能にします。対等性を提供します。伝統的教えの価値を包括的に認め、多様性を肯定します。あらかじめ決められた「すべきこと、すべきでないこと」に基づく機械的ルールよりも、忍耐強く内なる変容のプロセスを大切にします。日々の日常生活に、霊的真理を現実的なものとして生かすことを奨めます。探求する者を力づけるという面において、「新しき霊性」は神に関してのいかなる信念を持っている人であっても歓迎します。まったく神を信じていない人も含めて。「新しき霊性」にやって来る人は、探求する者であるのならば、真の自分が誰であるのかについて深いところで信じている、いかなる信念体系を持っていてもかまいません。探求する者を力づけるという面において、「新しき霊性」は、いかなる宗教組織も非難しません。そうではなく、特定の信仰を持っている人には、自由な判断と想像力を使って欲しいと言います。たとえば、もしあなたがユダヤ教徒、あるいはキリスト教徒、あるいはイスラム教徒である場合、「新しき霊性」では、古代遊牧民の砂漠の共同体では道理にかなっていたが、今日では通用しなくなったとされる慣習やルールを研究することができます。あるいはあなたが仏教徒であれば、紀元前六世紀の僧侶にとって意味があった教義が二十一世紀の生活に応用できるのかどうか、「新たなる霊性」に照らして疑問を投げかけるのも良いでしょう。

世界史上の偉大な霊的指導者、たとえば仏陀、イスラエルの預言者たち、イエス、聖母マリア、モハメッド、まだまだ何人もいますが、こういった人たちは当時においては、革命家であり、異端者であるとさえ思われてい

たのです。彼らは初期の信者たちに靈感を与えて伝統から脱却させ、神との関係を新しくさせたのです。実際、仏陀は死の床で弟子たちをこう諭しています。「人から聞いたことを鵜呑みにしてはいけない。伝統を鵜呑みにしてはいけない。教師の言葉や、自分の信念や、本に書いてあるような教義を鵜呑みにしてはいけない。自分自身を灯火としなさい。」

「新たなる靈性」は、靈的な探求者に、自ら灯火となり、その光を他人にもたらすように求めるものです

「新たなる靈性」とヒューマニティ・チームは、人類の進化にとって決定的な時代に登場しました。意味深い、歴史的な目覚めが、再びもたらされる時代に登場したのです。それは、何が真実であり、真の意味で「在る」とは何かという、靈的な完全性に到達するための本能的な目覚めです。次第に迫り来る、靈的な完全さを切望する様々な声が、現在の世界情勢として表現されているのです。あるいは逆に、世界情勢が原因で、表現されているのかもしれませんが。この世界情勢とは、致命的な技術がますます溢れ、異なる精神性や宗教や伝統を持つ者の中で繰り広げられる戦いが、人類を滅ぼすことができるほどのものなのです。

そこにヒューマニティ・チームが登場するのです。現代社会に対する批判の溢れかえる中、多様な宗教や靈的な宗派、固有の伝統を持つ人々に、互いに肯定的な光を認め合おう、と提唱することによって、ヒューマニティ・チームは世界を変革しようとします。お互いの、神へ向かう祝福のやり方が「間違っている」と非難したりしません。互いの違いをまったく受け入れないという状態から、完全に認め合うという状態に移行するのです。

実際のところ、「新たなる靈性」とヒューマニティ・チームの使命の中にあるのは、より満たされより豊かな存在となることを可能にするのは、世界を輝かせるための道具を携えている人々であり、その道具は各人の心の中にあるのだ、という信念なのです。

## 使命

ヒューマニティ・チームの使命とは、「新たなる靈性」を地上に出現させるための、可能性の場を創造することであり、人類が平和と調和と幸福に満ちて暮らせる世界を創ることです。単純に言うと、私達の使命とは、神とお互いの繋がりを回復、復活することです。

## 9つの中核的信念

ヒューマニティ・チームと「新たなる靈性」は、「9つの中核的信念」によって要約することができます。

1. 私達は 皆でひとつであり、神とひとつである。
2. 充分にある。
3. しなければならないことは 何もない。
4. 我々のやり方は、より優れたやり方なのではない。単に別のやり方の一つにすぎない。
5. 他の人よりも優れている人はいない。
6. 自由とは、人生 / 生命の本質なのであり、手に入れようとするものではない。
7. 愛は、条件や限界を知らない。
8. 喜びとは、私達の自然なありのままの状態のことである。
9. 生命 / 人生とは、私達の、最も神聖な信頼の対象であり、最も高い価値のことである。

## ヒューマニティ・チームの基本方針

ヒューマニティ・チームの使命と「9つの中核的信念」にのっとり、私たちヒューマニティ・チームの自己宣言リーダーは、私達自身の意思によって、以下に挙げる基本方針に従うものとします。

1. 地上に「新たなる靈性」を出現させるための可能性の場を創造すること。  
「新たなる靈性」はどんな宗教の一部とされてもよく、それでいて、それに縛られることはない。私たちは新しい宗教を創とうとしているのではない。
2. ヒューマニティ・チームと「新たなる靈性」は、すべての宗教や靈的な表現、固有の伝統がもたらす叡智に対して敬意を払うことを確言するものである。一つであることは、画一性を意味するのではない。私たちが心から希求するのは、人類が互いの違いを完全に認め合うことを受け入れない状態から脱却して新しい世界を創ることであり、分離と閉鎖的な信念体系を超越して進んでいくことである。
3. 「平和への五つのステップ」に従って生活することにより、包括的で宗派横断的な神へと向かい、人類を「彼ら」と「我ら」に分け隔てることを正当化する神から離れること。「平和への五つのステップ」は、私達に次のことを求めています。:

### **P** (Permit=許可すること)

神と生命/人生についての古い信条のなかには、もう役に立たないものがあると認めることを、自分に許すこと。

### **E** (Explore=探求すること)

神と生命/人生について人類が理解していないことがあり、それを理解できればすべてが変わる、という可能性を探究すること。

### **A** (Announce=宣言すること)

神と生命/人生についての新しい理解、この地球上に新しい生き方を生み出すような理解がもたらされることを、今、私達は望んでいる、と宣言すること。

### **C** (Courageously=勇気を持って)

こういった新しい理解を勇気を持って検討すること、そして、もしそれが自分の内なる真実と知恵に添ったものであるなら、それを取り入れることで私たちの信念体系全体を拡大すること。

### **E** (Express=表現すること)

自らの最も崇高な信念を否定するのではなく、それを実証するものとして人生を表現すること。

私たちは、人々が自分の文化的遺産や伝統、信仰を捨てることなく、「平和への五つのステップ」に従うことができると信じています。

4. 以下のことをしっかりと認識すること。(a)宗教、政治、経済、社会構造など、人類の文明のすべては「神についての五つの誤解」と「生命(人生)についての五つの誤解」に基づいている。(b)これらの誤りが、幾世紀にもわたって絶え間なく続く混乱状態の原因である。そして(c)混乱を終息させ平和と調和と幸福を創るために、最も即効性があり最も勇気のある方法は、誤解を捨てて「新たなる靈性」を受け入れることだ。

## 神についての五つの誤解 とは：

- 人間は、神が何かを必要とする、と信じている。
- 人間は、神が、必要なものを手に入れられないことがある、と信じている。
- 人間は、神が人間を引き離したのは、神が必要としているものを与えなかったからだ、と信じている。
- 人間は、神が必要としていたものをいまだに強く必要としているので、引き離された人類に対し、それを今、神に差し出すように要求している、と信じている。
- 人間は、神の要求に応えなければ、神に滅ぼされるだろうと信じている。

## 生命 / 人生についての5つの誤解 とは：

- 人間は お互いに ばらばらだ。
- 人間が幸せになるために必要なものは、充分にはない。
- 充分にないものを手に入れるためには、人間は互いに競争しなければならない
- 人間の中には、他よりすぐれている者がいる。
- ほかの誤解によって生まれる大きな相違を解決するために、人間が殺しあうのは適切なことである。

5. 「9つの新しき啓示」をしっかりと頭に入れ、心に深く、魂に永遠に刻み込むこと。そして他の人々が現在持っている神及び生命 / 人生についての信念を拡大する可能性を探求する際に考慮できるよう、この啓示を提示すること。

## 「9つの新しき啓示」 とは：

- 神は人間に直接語りかけることを、決してやめたことはない。神は人間に、あるいは人間を通して、時の初めから語り続けてきた。そして今もそうしている。
- すべての人間は、過去、現在、そして未来に生きる他のすべての人間と同じく、特別な存在である。あなたがたは皆、メッセンジャーだ。あなたがたは毎日、生命 / 人生に、生命 / 人生についてのメッセージをもたらしている。どの時間にも。どの瞬間も。
- 神に至る道に、他よりも近い道はない。「唯一の真実の宗教」は存在しない。「選民」はいないし、「最も偉大な預言者」もいない。
- 神は何も必要としない。神は幸福になるために何も求めない。神自身が幸福そのものである。ゆえに神は、宇宙の誰にも、何も 求めない。
- 神は単一の「超越的存在」ではない。宇宙の中や外のどこかにいるわけでもないし、人間と同じ感情的欲求があるのでも、情緒不安に悩まされることもない。「存在そのもの」である神は、どのような方

法をもってしても、傷つけることも損なうことも出来ない。したがって、復讐したり刑罰を課す必要はないのだ。

- すべては、「一つのもの」である。「一つのこと」だけが存在し、すべての物事は「存在する一つのもの」を構成する一部分なのである。
- 善悪は存在しない。人がどうありたいか、何をしたいか、あるいは何を所有したいかに照らして、うまくいくこと、いかないことがあるだけだ。
- あなたとは、あなたの肉体ではない。本当のあなたは、無限で終わりのない存在である。
- 人は死ぬことはないし、永遠の地獄に落とされることも決していない。

6. 内的真実に自分を調和させることが、意識的な生活の最も崇高な目的であることを肯定し、それを忘れずにいること。あらゆる人間関係における決定的に重要な局面で、唯一つの問いかけをすること。

「愛なら、今、何をするか？」

## 地域のヒューマニティ・チームコミュニティ及びリーダーの価値観

ヒューマニティ・チームの使命と方針を支持するため、地域のヒューマニティ・チーム組織及びリーダー達は、以下の価値観に沿って行動することに同意します。

1. 地域のヒューマニティ・チーム組織及びリーダーのグループは、「職場コミュニティ」とみなすことができる。
2. 地域のヒューマニティ・チームの組織あるいはリーダーである資格とは、最終的には、考え方のことである。その考え方を維持し、成長していくこと。すなわち、どうすればもっとも効果的な組織を創ることができるのか、という話し合いを 組織全体にオープンにし、常に続けていくこと。
3. 地方のヒューマニティ・チーム組織及びリーダーのグループ活動の成功には、すべてのメンバーの貢献が不可欠である。
4. 他の人を尊重し、楽しく有益で意味深い体験ができるような生産的人間関係を築くため、またヒューマニティ・チームと「新たなる霊性」の使命を果たすため、お互いの絆を創ることが重要である。
5. ヒューマニティ・チームのメンバー及びリーダーは、お互いの感情を支え合う。この互いを支える関係は、相互依存であり、各人の霊的進化に内在する個人の変容や成長を支援するものである。
6. ヒューマニティ・チームのコンセプトでは、正当な手続きを経て選ばれ、組織全体の発展に敏感であるという責任を持った自己宣言リーダー達の必要性を承認しています。これらのリーダー達は、活動の運営責任者であり、色々なレベルにおける組織の成長と発展のための多くのツールを授けられます。彼らはまた活動に奉仕し、下に記されている、リーダーとしての特質と深く調和している人達です。彼らは、この文書に署名することによって、自分が、この活動における責任者でありリーダーであることを宣言します。このようにして、彼らのゆるぎない意思は尊重され、信頼され、皆と一緒に祝われるものです。(下記参照)

7. 地域のヒューマニティ・チーム組織に深く関与する人はすべて、次のような責任を負うものである。可能な限り最善の結果を生み出そうとすること。そして、その結果によって、様々な意味で傷つくような体験をする選択をしてしまった人々がいた場合、回復可能なことに対しては、必要なことをして回復しようとする。

## すべてのヒューマニティ・チームリーダーに与えられた権限

ヒューマニティ・チームの自己宣言リーダーは、以下のような権利を与えられる：

1. 地域のヒューマニティ・チームコミュニティ(組織)を設立すること。HTコミュニティとは、HTリーダーとメンバー達が、自分達の住む地域に、物理的に発足させるグループで、グループの大きさは問わない。これには以下のものを創ることが含まれる：
  - 「新たなる霊性」学習会、エモーショナル・サポート(情緒支援)グループ、リーダーシップグループ(管理、運営部門グループ)、ホームページ、チャット(インターネット)グループ。これらはすべて「平和への5つのステップ」の精神に基づいたものであること。
  - 「新たなる霊性」を日常生活に取り入れて理解し応用するための講座、ワークショップ、リトリートを始め、その他の学習の機会。
  - 地域の宗教家や政治家、政府役人、教育者、芸術・文化人、そして広く大衆を招いての、コミュニティレベルでの対話集会。
  - 地区や地域での「スピリチュアル活動プロジェクト」。たとえば「大衆の自覚キャンペーン」「投票キャンペーン」「目覚めている市民」、投書キャンペーン、それに「バイコット」(バイコットの逆であり、「新たなる霊性」の理念を体現しているような製品や企業を組織的に応援すること)
  - ヒューマニティ・チーム組織の活動やイベントを経済的に可能にするための地域での資金集め。
  - 「新たなる霊性」を更に探求し理解を深めるため、リトリートやコンファレンス、ワークショップ、オンライン(通信)講座や電話会議にメンバーが出席できるような機会。ヒューマニティ・チームのグローバルオフィスと、母体組織である「神との対話財団」が、そういった学習機会を提供します。他にも、ヒューマニティ・チームの使命や価値観に合致し、支持しているような組織やトレーニングプログラムがあります。そうした、ヒューマニティ・チームの職務を更に進めることができるようなものは、すべて調べ、考慮していきます。
2. 地域のヒューマニティ・チーム組織及び世界規模でのHT活動を支援する非営利目的のビジネスを行うため、ヒューマニティ・チームセンターを組織すること。
3. コミュニティで完全に実行された時、世界中のヒューマニティ・チームと共鳴するような、地域のヒューマニティ・チーム組織とはどのようなものか、についてのグループビジョンを創ること
4. 他のヒューマニティ・チーム(地域や国内の、そして国際的に)と、ヒューマニティ・チームの使命や理念に沿ったやり方で連携していくこと。
5. 「新たなる霊性」を更に推進することに関心を示している、地域における他の人々や組織を認定し、連携していくこと。

6. ヒューマニティ・チームの名前、ロゴ、及び関連イメージを使用すること。ただし、ヒューマニティ・チームの使命と理念に沿った使い方をするという前提で。
7. ヒューマニティ・チームのグローバル・オフィス、ワールドワイド・コーディネーターチーム、及び関係するヒューマニティ・チーム・カンントリーコーディネーターから、支援とガイダンスを受けること。また、グローバル・オフィス、ワールドワイド・コーディネーターチーム、及び関係するヒューマニティ・チーム・カンントリーコーディネーターに支援とガイダンスを与えること。
8. 自身の生き方そのものが「新たなる霊性」への招待となるような在り方をし、そのメッセージを更に完全に体現するように進めていくこと。この活動に参加している他の人にも、それぞれの生き方及び在り方が「新たなる霊性」であり招待となるように奨励し支援すること。

## ヒューマニティ・チームリーダーの特色

ヒューマニティ・チームの自己宣言リーダーは、以下のような特色を持っている：

1. HTリーダーは、ヒューマニティ・チームの使命と理念に沿った、「自覚」、「正直 / 誠実さ」、「責任」を持って行動する。
2. HTリーダーは、ヒューマニティ・チームの他のメンバーに対し、ヒューマニティ・チームの使命と理念に沿った、「自覚」、「正直 / 誠実さ」、「責任」を持って行動するよう奨励する。
3. HTリーダーは、活動の責任者であり、他のすべてのHTメンバーとリーダーへの奉仕として行動する。HTリーダーは、他のすべてのHTメンバーとリーダーに対し、彼らの創造力の可能性を認識し実現できるよう、奨励しサポートする。
4. HTリーダーは、ヒューマニティ・チームの使命とビジョンに共鳴し調和している。
5. HTリーダーは、多様性と「文化的な適性」を受け入れ、一つのコミュニティでうまくいく計画が必ずしも他のコミュニティでうまくいくとは限らないということを認める。
6. HTリーダーは、すべての人を「一つであることの光」の下で見る。
7. HTリーダーは、地域のHT組織の中で、またチームリーダー運営本部において、新しいリーダーを育成することで、ヒューマニティ・チームの使命を更に進める。これもまた、ヒューマニティ・チーム及び「新たなる霊性」の理念にのっとって進めていくものである。
8. HTリーダーは、地域のヒューマニティ・チーム組織及びチームリーダー運営本部において、物事が上手く進むように育み、支え、交流し、助ける。
9. HTリーダーは、地域のヒューマニティ・チーム組織において物事が上手く進むように育み、支え、交流し、助けるために、いつでも可能な限り応える。
10. HTリーダーは、活動状況や、出来事、活動のハイライトなどを、できるだけ他のHTコミュニティや米国HTコーディネーターと分かち合う。そのことによって他のヒューマニティ・チームの管理運営部門との適切なコミュニケーションができるようにする。



11. HTリーダーは、地域の、及び世界各地のヒューマニティ・チーム組織に貢献する。そしてその際、人が与えるものはそれが愛であれ、才能であれ、時間やお金であれ 増幅して、それを与えた人に戻ってくるということを知っている。
12. HTリーダーは、メンバーについて、経理、会計について、そして活動について、いつでもにおいても必要な事柄について、正確な記録をつけておくこと。
13. HTリーダーは、ヒューマニティ・チームの使命と理念に沿った方法で、ヒューマニティ・チームメンバーの活動を監督し、再検討する。
14. HTリーダーは、ヒューマニティ・チームの使命と理念にふさわしくない、あるいは「自覚」「誠実さ(正直)」、「責任」を欠いた決定や行動によってもたらしたあらゆるクレームや不利益について、ヒューマニティ・チームグローバルオフィス(ヒューマニティ・チームジャパン運営本部を含む)とその職員、代理人、母体組織である「神との対話財団」に対して、損害を及ぼさず、責任を問うものではない。

「ヒューマニティ・チームリーダー宣言書」に署名することによって、**私はヒューマニティ・チームのリーダーであることを宣言します。** 私は、上記の「使命」、「核となる信念」、「理念」そして「価値観」を受け入れ、同意し承認します。私はヒューマニティ・チームリーダーの権限及び特色を受け入れます。

署名:

この文書を尊重、信頼、祝福するための副署:

氏名

氏名

ヒューマニティ・チームリーダーとしての役割

ヒューマニティ・チームリーダーとしての役割

所属するヒューマニティ・チーム

所属するヒューマニティ・チーム

日付

日付

Eメールアドレス

Eメールアドレス

市区町村、都道府県

市区町村、都道府県

連絡先電話番号

連絡先電話番号